

はじめに

第8回定例町議会が開会され、令和7年度えりも町各会計予算案をはじめとする諸議案を上程し、そのご審議をいただくにあたりまして、町政執行に取り組む私の所信の一端と施策の方針について申し述べたいと存じます。

解散から投開票日までが、わずか18日間という超短期決戦で行われた第50回衆議院議員総選挙は、与党が大きく議席を減らし、過半数である233議席を下回る結果となりました。この後に招集された特別国会において、首班指名選挙が行われ、石破茂自由民主党総裁が内閣総理大臣に選出され、第2次石破内閣が発足しましたが、衆議院は少数与党となり、厳しい政権運営を強いられることとなりました。

石破内閣が掲げる国づくりの基本軸は、すべての人が安心と安全を感じ、多様な価値観を持つ一人一人が、互いに尊重し合い、自己実現を図っていける国家、いわゆる「楽しい日本」を目指すというものでありますが、これを実現するため「地方創生2.0」を政策の核心に位置付け、「令和の日本列島改造」として強力に推し進めることとしており、若者や女性にも選ばれる地方、産官学の地方移転と創生、新時代のインフラ整備などの5つの柱で、厳しい国際競争の中、日本全体の活力を取り戻そうとするものであります。

これらのことなどを反映した令和7年度予算政府案は、前年度よりも約2兆9,700億円増の115兆5,415億円で、過去最大の規模となっており、年金や医療などの社会保障費、防衛関係費など

が拡大されているほか、地方交付税交付金についても、1兆3,000億円程度の増額を見込んでおります。

本町の令和7年度一般会計予算については、前年度との比較では6億9千万円、13.0%増の59億8千万円で、当初予算としては直近10年でも最大の計上額となっております。消防団詰所などを併設した目黒地区緊急避難施設の整備、消防通信司令システムの更新など、町民の安心・安全対策を進める事業に加え、第二子以降の学校給食費の無償化、町内での映画撮影に対する支援、地域おこし協力隊の採用者の増、国立公園化に伴う周知やPR活動などについても、積極的な財政出動を予定しているところであります。

しかしながら、総務省が発表した消費者物価指数総合は、令和2年を100として換算した場合、令和6年は110.7となっており、この5年間では10ポイント以上の物価上昇を示していることから、行政を運営する上で非常に大きな負担の増加を招いております。経常的な経費は当然のことながら、臨時的な経費にも大きく影響を与えることとなりますので、引き続き最小の経費で最大の効果となるよう、厳正かつ適切な予算の執行に努めてまいりますので、議員はじめ町民の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、新年度の重点施策について申し述べます。

1 活力ある地場産業の振興、経済対策とまちづくり

第1は、活力ある地場産業の振興、経済対策とまちづくりであります。

(水産業の振興)

町の主要産業である漁業を取り巻く状況につきましては、昨年、北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場より発表された秋サケの来遊予測のとおり、北海道全体で不漁となりました。特に襟裳岬以西の太平洋沿岸での不漁が顕著で、えりも町内においては一部を除き不漁であった一昨年をさらに下回る大不漁となり、その対策が喫緊の課題となっております。

令和3年9月に北海道太平洋沿岸で発生した赤潮の影響は、引き続きウニ・エゾボラ・タコなどの水揚げに大きな影響を与えております。ウニやミズタコなど漁獲が徐々に回復している魚種はあるものの、引き続きその影響が心配されるところであります。町といたしましては、資源の早期回復に向け、ウニ種苗購入に対する助成の継続のほか、被害を受けた魚種のモニタリングなどについて、漁協等関係機関と連携し実施してまいりますとともに、エゾボラにつきましては、より効率的な種苗生産に向けた飼育環境の検討などについて調査を進めてまいります。また、タコ類の種苗生産技術確立のための基礎研究を関係機関と連携して進めてまいります。

赤潮以降、水揚げが増加しているオオズワイガニにつきましては、徐々に知名度が上がり価格も安定してきていることから、資

源管理や魚価対策が重要であると考えているところであります。

昆布につきましては、昨年は数量・金額ともに一昨年を下回る不漁でした。幸い今年については、各地区とも着生状況が良好であるとのことでありますので、好漁が期待されるところであります。今年度においても、資源の維持増大と安定した生産を目的に、雑海藻駆除を主体とする水産環境整備事業などを継続して実施いたします。

漁業後継者の対策は、北海道漁業研修所に係る総合研修費の助成を行うほか、関係機関と連携し後継者の確保に努めてまいります。また、近年、漁船乗組員が不足していることから、北海道や漁協と連携し、その確保に努めてまいります。

さらに、新規就業者対策として、漁業担い手支援補助金の積極的な活用を促進し、町の主産業である漁業の就業者確保に努めてまいります。

栽培漁業えりもセンターにつきましては、マツカワ稚魚を搬入して中間育成を行い、日高管内栽培漁業推進協議会と連携して9月から本町海域を含め日高管内に放流を予定しておりますが、今年度以降は北海道電力伊達火力発電所の休止により栽培漁業伊達センターの取水ができなくなるため、他の栽培漁業センターで種苗生産が行われ、その全量をえりもセンターで中間育成する予定となっております。種苗の生産数は減少することが見込まれますが、町といたしましては漁獲量維持のため放流数を確保するよう引き続き関係機関へ要望してまいります。また、水産資源の増大を目的として、ハタハタの種苗生産や、エゾバイの卵塊の放流も引き続き実施いたします。

アザラシ対策につきましては、環境省が主体となり「えりも地域ゼニガタアザラシ特定希少鳥獣管理計画」及び実施計画に基づき、被害防除対策・個体群管理を行っているところでありますが、町といたしましても「えりも地域ゼニガタアザラシ保護管理協議会」等において関係機関と連携し、問題解決に向け努力してまいります。

また、今年度においても引き続きカーボンニュートラル実現のために、雑海藻駆除事業により造成するコンブ藻場での二酸化炭素吸収量の増大を目指し、関係機関と連携し、えりも町ブルーカーボンプロジェクトを実施いたします。

（商工観光業の振興）

商工業においては、コロナ禍により宿泊業・飲食業を中心に大きな影響を受け厳しい経営環境が続いておりましたが、昨年6月に日高山脈襟裳国定公園がその範囲を広げ新たに日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生しました。今後は、町を訪れるインバウンドを含む観光客の増加が見込まれることから、町といたしましては受け入れ態勢の整備が急務となっております。

コロナ禍は脱したものの円安などの影響による原材料や燃油などの高騰は続いており、経営を圧迫する厳しい状況にありますが、町といたしましては、本年も必要に応じた支援をするとともに、商工会が実施するプレミアム付き商品券発行事業に対して支援を行うことで、町外に流出する購買力を食い止めるとともに、商工会や本町商店街協同組合が取り組む経営改善事業や地域振興事業について支援を継続してまいります。

観光振興につきましては、本町の豊かな資源を活用した体験型・滞在型の観光地づくりを引き続き推進していくため、えりも観光協会、日高東部3町と広尾町で構成する「えりも岬とんがりロード観光協議会」などと連携し、国立公園化により増加が見込まれる観光客に対応してまいります。

今年度で50回目の開催となる夏の「えりもの灯台まつり」と秋の「えりも海と山の幸フェスティバル」などのイベントにつきましては、各実行委員会との連携を図り、より多くの方に楽しんでいただけるよう支援してまいります。

襟裳岬「風の館」などの各観光施設については、今後も効率的かつ効果的な維持管理に努め、利用者に親しまれる運営を行ってまいります。また、昨年度から百人浜オートキャンプ場の運営を地域おこし協力隊員にお願いしているところではありますが、順調に利用者が増加しておりますので、更なる施設の整備を進め、受け入れ態勢の拡充を進めてまいります。

(映画「北の流氷」(仮題)の制作)

えりも岬の緑化事業を題材とした映画「北の流氷」(仮題)につきましては、えりも、浦河、様似、広尾の4町が協力して製作を目指してきましたが、本年7月末より俳優などが参加しての撮影を開始いたします。

昆布漁の最盛期と重なりますが、宿泊や飲食の提供、エキストラ等の受け入れ態勢を整えるとともに、映画「北の流氷」を応援する会をはじめ、多くの皆さんとともに盛り上げていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

（農業の振興）

農業につきましては、就業者の高齢化と円安等に起因する資材などの高騰により依然として厳しい経営状況にあります。

肉用牛につきましては、コロナ禍以降、黒毛和種の素牛価格は、安値基調で推移しており、更にロシアによるウクライナへの侵攻に端を発した肥料・飼料などの急騰は大きな打撃となっております。町内における繁殖牛の高齢化の割合が依然として高い状況にあることから、優良繁殖後継牛保留奨励事業などによる繁殖牛の更新・能力向上に向けて支援を継続いたします。

新規就業者対策といたしましては、農業担い手支援補助金の積極的な活用を促進し、町の重要な産業である農業の就業者確保に努めてまいります。

また、平成25年に町内で患畜が見つかりました牛ヨーネ病につきまして、北海道ヨーネ病防疫対策実施要領に基づき、引き続き発生農場での清浄化対策を実施するなど、関係機関と連携し、清浄化に向けた取組を推進してまいります。

エゾシカや町内での生息が急増し被害の増加が心配されるアライグマ等の鳥獣による被害対策につきましては、引き続きえりも町鳥獣被害防止計画に基づき計画的な駆除を実施するため、猟友会等の関係機関と連携を密にするとともに、安全に十分配慮して実施いたします。

（林業の振興）

林業につきましては、引き続きえりも町森林整備計画に基づいた各種施業を計画的に実施することで、森林の持つ二酸化炭素吸

収などの公益的機能を発揮させるための森林資源の適切な整備及び保全を図り、豊かな森づくりに取り組みます。

一昨年で襟裳岬緑化事業の開始から70年の節目の年になりましたが、今後においても各関係機関と連携して春の「えりもワクワク森林づくり事業植樹祭」と秋のえりも岬国有林内での「えりもイキイキ森林づくり事業育樹祭」を行ってまいります。

緑化事業を次の世代へ伝えるために、中高一貫教育の中で生徒が緑化事業の歴史を学び体験する事業を継続して行うなど、今後も町民皆様の参加と協力を得ながら緑化事業を進めてまいります。

（移住、交流、関係人口の拡大）

移住・定住の受入れ環境の整備や関係人口の創出に向け、関係機関と協議を行うとともに、公営住宅等を活用したお試し移住者向けの住宅の整備についても検討してまいります。

2 健康で安心して暮らせるまちづくり

次は、健康で安心して暮らせるまちづくり対策であります。

(保健事業)

保健事業につきましては、住民の健康を守り、健康寿命の増進を図るうえで大変重要であります。季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症への対策を施しつつ、引き続き、各種がん検診や特定健康診査等の受診勧奨に努めるとともに、特定保健指導、健康相談、訪問指導などを着実に実施し、健康づくり体制の充実を図ってまいります。

感染症予防対策では、感染とまん延防止について、正しい知識の普及啓発に努めるとともに、各種予防ワクチンの接種推進と接種費用の助成について、継続して実施してまいります。

歯科保健事業につきましては、引き続き町内歯科医の先生にご協力をいただきながら、幼児及び妊婦を対象とした歯科健診を実施するとともに、節目の年齢（40歳、50歳、60歳、70歳）の方を対象とした歯周病健診についても支援してまいります。

母子健康対策では、安心して子どもを産み育てられる環境づくりとして、妊娠前、妊娠期、出産、子育てまでの各段階において、切れ目のない支援を講じているところであります。引き続き、乳幼児健診、相談事業、訪問事業などの充実を努めるとともに、電子母子手帳アプリやオンライン相談の普及促進、妊婦一般健康診査の無料化や妊婦健診等交通費助成、新生児聴覚検査助成の継続など、安心できる子育ての観点から取組を進めてまいります。

(高齢者福祉・介護保険事業)

本町における65歳以上の人口割合、高齢化率は、令和7年1月末現在で36.2%、前年同期に比較して0.8ポイント上昇しております。ひとり暮らしの高齢者世帯や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の発症をはじめとして様々な状態にある方が増えていることから、高齢者一人ひとりが、いつまでも健康で住み慣れた地域で暮らしていけるよう、令和6年度から令和8年度を計画期間とする「第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、引き続き、医療や福祉など各関係機関と連携しながら、地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの確立に向けた取組を推進し、機能の充実を図ってまいります。

また、今年度において、要介護認定を受けている方以外の高齢者を対象とした介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施いたします。調査により地域における高齢者の状況や課題を把握することで、令和9年度よりスタートする「第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」及びその後における介護保険事業の適正な実施に努めてまいります。

(障がい者への福祉支援)

現行の第4期障がい者計画、第7期障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画に基づき、障がいのある方が、地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスの提供、相談支援や地域生活支援事業の実施など、可能な限り利用者のニーズに応えられるよう、引き続き、各関係機関との連携を図ってまいります。

（国民健康保険事業・後期高齢者医療）

国民健康保険は、安定的な財政運営を目的に、都道府県が責任主体となり、市町村とともに運営しているところであり、財政運営の責任主体が北海道となり、急激な医療費の増嵩等の際にも安定した保険事業の運営がなされることとなりますが、一方で、医療技術の進歩や疾病の多様化等に伴う医療費の伸びは、今後も国保の財政運営に大きな影響を与えることとなります。

令和5年度に策定いたしました第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画を踏まえ、引き続き、生活習慣病予防に重点を置いた特定健診と保健指導により、医療費の抑制を図る取組を進めてまいります。

後期高齢者医療は、北海道内全市町村で構成する広域連合により運営されているところではありますが、市町村が行う窓口業務や保険料徴収業務等の円滑な実施に努め、本医療保険制度の適正な執行を図ってまいります。

（診療所の運営）

医療を取り巻く環境は、働き方改革や少子高齢化の加速に伴う労働力の減少、育児・介護によるキャリアの中断など、医療現場の負担増加や質の低下につながる可能性が懸念されております。

そのような中ではありますが、診療所は地域の医療機関として町民の生命と健康を守るという使命を果たすため、一次医療や急性期医療に対応した診療体制の整備、医療従事者の確保、さらには公衆衛生予防医療を推進し、疾病の早期発見、治療など医療を受けられる環境整備に努め、町民の健康増進や医療福祉の進展を

図ってまいります。

今年度は、近年の夏期間における気温上昇に対応するため、中央待合室及び外来処置室にエアコンを設置し、安心して安全な医療提供体制の整備を図るとともに、感染症等に対応できる医療体制の構築として診療所内仮設診察室による発熱外来を継続してまいります。

なお、昨年の常勤医師退職により、町民皆さまにはご不便をお掛けしているところではありますが、現在札幌市の東札幌病院と医師派遣に向けた医療機関連携のための協議を進めております。今後は定期的に医師の派遣が行われることから、医師2名体制を維持したうえで、引き続き常勤医師の招へいに努めてまいりますのでご理解をお願い申し上げます。

3 安全・快適なまちづくり

次は、安全・快適なまちづくり対策であります。

（総合計画及び総合戦略の策定）

町づくりの基本方針や目標を定めた第6期えりも町総合計画が最終年度を迎えます。これに伴い、新たな総合計画を策定するとともに、国の重点政策である地方創生への取組として、今後5か年の目標や施策を第3期えりも町総合戦略として新たな人口ビジョンとともに策定いたします。

本町といたしましては、総合計画と総合戦略を一体的に策定し、町民の代表による審議会の議論を経て、目指すべき町の将来像を提示し、次の世代に引き継ぐために取り組んでまいります。

（建設土木関係事業）

道路網の整備は、地域の活性化、安全で安心、快適な暮らしと住みよいまちづくりを支える重要な社会資本となります。

今年度も社会資本整備総合交付金事業として、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、本町・大和地区における大和橋の補修事業（実施設計）や上幌橋の補修工事を実施いたします。また、安定した除雪体制を維持するため、老朽化した除雪トラックの入れ替えを行い、冬期における円滑な道路交通網の確保に努めます。

町単独の土木事業や改良舗装工事は、地区別町政懇談会等における住民の要望を踏まえながら、事業の緊急性と将来的な維持補修などを考慮し、住民生活の安全性かつ利便性向上のために計画

的に進めてまいります。

町管理河川では、大雨時の治水対策として普通河川「幌泉川」の浚渫工事（堆積土砂の除去等）を実施し、水害リスクの軽減に努めてまいります。

えりも港の整備につきましては、北防波堤の老朽化対策として、今年度6年目の改良事業を実施し、港湾機能の整備・拡充を進めてまいります。

なお、国道の越波対策をはじめ、海岸、河川、砂防、急傾斜地等の各事業における懸案事項につきましては、住民生活に及ぼす影響も大きく、早期に対策を実施するよう関係機関に要望してまいります。

（住環境の整備）

公営住宅の有効的かつ総合的な活用を図るため、また、長期的な視点及び予防的な観点から、今年度も「えりも町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、新浜団地の1棟3戸について建て替えを行うとともに、既設の公営住宅、町営住宅については、老朽化した住宅等の安全性・緊急性に対応した修繕や入退去時の補修を計画的に進めることとし、良質な住宅の提供に努めてまいります。

また、個人住宅につきましては、快適で良質な住環境の整備、並びに町内経済の活性化を図るため、引き続き「住宅改修等助成補助事業」を実施し支援を行ってまいります。

（簡易水道事業・下水道事業）

簡易水道事業につきましては、住民生活に欠かせない重要なラ

イフラインである飲料水を安全かつ安定的に提供するため、水質の管理、供給水量の確保を基本に、施設の維持管理と水質管理の強化を図ってまいります。今年度は、有収率向上のための漏水調査を引き続き実施するとともに、東洋地区の配水流量計設備の更新や新浜・近笛地区の配水管更新工事等のほか、町内全域で検満メーターの更新工事についても継続して実施いたします。

下水道事業では、生活環境の向上や衛生環境の保持及び公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の適切な維持管理と長寿命化対策に取り組んでまいります。今年度は、ストックマネジメント計画に基づき、供用開始から20年以上が経過し老朽化が進んでいる下水処理施設の設備更新事業（実施設計）を行ってまいります。

（減災・防災対策）

今後の発生が予測されている日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の対策として、目黒地区においては、「津波避難対策緊急事業計画」に基づき、今年度より消防詰所を併設した避難施設の建設工事に着手いたします。近浦地区においても緊急避難施設の設置に向け、地域との協議を進めてまいります。

また、地域の防災力の強化については、各自治会や学校等と連携した防災訓練を実施するとともに、自治会を単位とする自主防災組織の設立について、引き続き積極的に支援してまいります。併せて、えりも町災害備蓄計画に基づき、各地区の備蓄の充実を図ってまいります。

このほか、国道 336 号が通行できない場合の避難路を確保する

ため、内陸の避難道路の早期建設に向けて、国や北海道に対して、引き続き要望活動を行ってまいります。

(地域公共交通の確保)

日高管内広域のバス路線等公共交通の維持については、「日高地域公共交通計画」に基づき、持続可能な交通体系の構築に向けて、日高地域公共交通活性化協議会等において関係機関と協議・検討を進めてまいります。

町内の公共交通につきましても、現状の庶野から広尾間の路線バスにつきましても、広尾町と共同でジェイ・アール北海道バスによる委託運行を継続するとともに、タクシー事業につきましても営業の継続に向けて事業者に対し、支援を続けてまいります。

また、公共交通を取り巻く状況は、運転者不足や人口減少等により、ますます厳しくなっており、ジェイ・アール北海道バスは類似営業所管内の運行計画の再構築を検討しておりますので、その状況も鑑みながら、町の地域公共交通計画につきましても、その策定に向けての検討及び近隣町との調整を進めてまいります。

(パスポート発給事務の開始)

パスポートの申請及び交付事務につきましても、これまで日高振興局に赴いての手続きとなっておりましたが、本年4月1日から、北海道からの権限移譲を受け、役場窓口での受付事務を開始いたします。

窓口は町民生活課で、受付時間は開庁日の午前8時45分から午後5時30分までとなっております。新規・更新などの申請、交付業務

及び紛失等の届出を取り扱います。当町で申請できるのは、日本国籍を有し、えりも町に住民登録がある方です。

このパスポート発給事務の開始により、これからは町内で各種手続きができることとなり、町民の利便性の向上が図られるものと考えております。

(交通安全運動の推進)

交通事故の撲滅は町民全ての願いであり、交通安全運動は町民総ぐるみの運動であることから、えりも町交通安全運動推進委員会を推進母体として、各自治会や事業所等との連携を深めながら、交通道德の向上と交通事故の防止のための運動を展開しているところです。

今年度につきましても、引き続き浦河警察署をはじめとする関係機関との連携強化に努め、町民の皆様と一体となった交通安全啓発活動に努めてまいりますので、今後とも交通安全運動への一層のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

むすび

以上、令和7年度の町政に係る基本的な考えと、主な施策を申し上げて参りました。

私が2期目の町政を担わせていただいた4年の間には、世界的な新型コロナウイルス感染症の大流行により、日常生活が大きく制限を受ける中で、予定していた行事の中止やイベントなどの延期を余儀なくされたと同時に、感染拡大防止対策などに多くの時間を割く結果となったわけではありますが、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化はもとより、漁業・農業への新規就業や事業継承に対する支援、赤潮により大きな被害を受けた生産者への助成、教育の分野では庶野小学校の完全給食化、GIGAスクール構想に基づく小中高生への端末機器の無償貸与などを推し進めてきたところであり、昨年12月の定例議会におきまして、次期についての新たな決意を表明させていただきました。

国は、「都市」対「地方」という対立関係ではなく、都市と地方双方の魅力を高めていくため、先に述べたとおり「地方創生2.0」を政策の核心と位置付けていますが、人口や財政の規模に主眼を置くことなく、半ば強引に政策を推し進めている部分も見受けられ、多くの市町村はその対応のために、人的にも財政的にも大変苦慮しております。本町もまた例外ではありませんが、他にも山積する課題の解決と、難題に立ち向かう姿勢を保ち続け、気概を持ってしっかりとした行財政運営を図ってまいる所存でありますので、議員各位をはじめ、町民の皆さんの一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げ、令和7年度の執行方針といたし

ます。